

生き残りをかけた地方卸売市場の挑戦

(株)マルケイ青果市場の産地を掴んだ新しい試み

かつて食品産業や外食産業が伸び盛りだった頃には、成功の鍵は同一品質の実現と安価な食材を大量に仕入れて調達コストを下げることにあった。輸入食材が普及するまでの地方卸売市場の存在は大きかった。しかし、食品産業や外食産業の輸入食材への依存度が高まるにつれて市場経由率は低下の一途を辿り、卸売市場数は減少し独占・寡占型大規模化の業界大編成が進んでいる。一方、市場の成熟化とともに価格や品質、サービスを標準化する手法は行き詰まりつつある。90年代以降、外食産業の売上は停滞から減少に転じており、一時注目された惣菜や弁当などの中食も、主要な販売ルートであるコンビニの店舗が飽和状態になるなかで成長力に陰りがみえている。こうしたなかで、売上低迷に見舞われた食品や外食産業はライバル他社との差別化戦略に取り組んでおり、「安全・安心」をキーワードに、輸入食材を国産品に切り替える企業が増えている。しかし、従来の卸売市場経由の流通システムでは安心・安全が担保された農産物を手に入れることは難しく、農家との契約栽培に注目が集まっている。



当社ウェブサイト

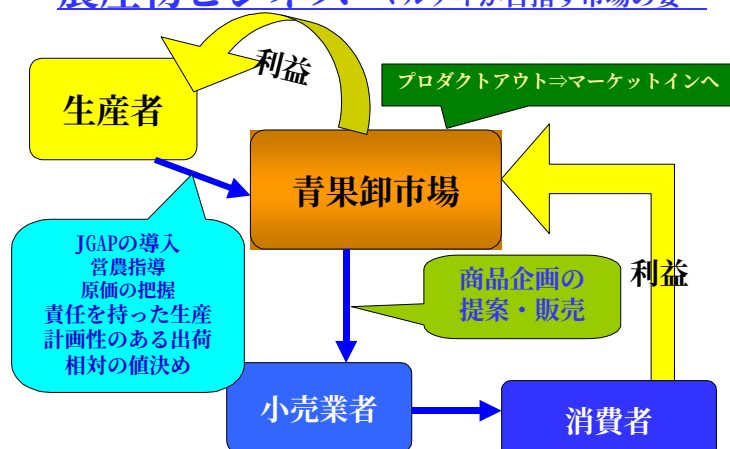
リニューアルのお知らせ

当社ウェブサイトがリニューアルされました。今回は商品紹介を大幅に変更し、ご要望の多かった作物別、商品群別に当社おすすめ商品を紹介しております。各種写真付でとても見やすくなりました。その他、社長挨拶を刷新、JGAP協会とのリンクを張り、情報満載になっておりますので是非ご覧下さい。

福島県郡山市青果市場内卸(株)マルケイ青果市場の挑戦

衰退する地方卸の再生への挑戦を(株)マルケイ青果市場古川社長は元気よく語っている。①地方卸は委託販売を享受してきたが、一方、創造的な業務展開は一切せず結果的に時代の流れについていけなかった。②今年からの新農政は、農家が直接補助金を受け取れる制度を導入したが、これは委託販売制度の終焉を意味する。③食品、外食産業の農家との直接契約は卸売市場の存在価値をより一層低下させる。と現状分析

農産物ビジネス～マルケイが目指す市場の姿～



析をしながら、自らJGAP普及を進めながら新たな産地形成に乗り出した。農家の自立に協力して自らも生き残る作戦だ。社内にGAP事業部を立ち上げ、組織作り並びにトレサ管理のIT化に邁進している。成功への鍵は、農家への求心力と、『農産物の安全・安心・美味しさを高めることが農家収益の改善に繋がるようなシステムを作る』ことにある。

マルケイ青果は地元の農家にJGAPの導入を勧め、認証を取得させた。認証農場は青果30農場、穀物1農場。あぶくまGAP協議会を立ち上げ、これからも導入・普及を積極的に進める。JGAP

導入指導員を派遣し導入の支援活動や、農産物のトレーサビリティの管理、営農企画、商品企画をしながら地元農家をしっかりと掴み、売れる農産物を集め販売に注力している。売れるものを集めなければ生き残れない。市場は如何に物を集めるか、自立が求められる時代になった。

農業環境技術研究所の小野先生は、自給自足の国が食料自給率40%まで減少した傾向を「ジャパンシン・ドローム」と称し、中国・インドもその予兆が現れ始めた。「化学肥料は悪だ!」という前に、化学肥料をいかに効率よく使う研究をすべきだと強調された。公正取引委員会による「農協ガイドラインの理解」では、新制度の詳細なる説明があった。質疑応答では、みかんのブランド化を利用した肥料購入制限などの事例が紹介され、現場の実情を反映した公正な運用を期待する旨の要望がでた。当社上杉社長は、GAP導入は肥料商にとってもプラスになると、普及の重要性を説いた。栃木県農業者の杉之内氏は補助金依存型農業からの脱却が今後の課題であると、息子家族と農業経営に取り組む姿を真摯に話され感動を呼んだ。堀場製作所からは、農産物の安全・美味しさを簡便に検査できるコンパクト型硝酸イオンメーターの開発状況の説明があり、栃木県農政部からは特産イチゴの省力型栽培方法、安心・安全への取り組み、高設栽培、夏秋どり栽培など産地間競争に打ち勝つための挑戦の熱い解説があった。宇都宮の県農業試験所では、今まで栃木県産にはなかった、おかき用、酒米用の新品種開発など実需者の要望に応える新たな取り組みの説明があった。今回の講演は、「消費者・実需者の満足度を高める農業」に視点を置き、時代の流れを反映した充実した内容であった。最後に日光東照宮では、社務所総務部長のガイドで今まで知らなかった匠の技を教えられた。栃木県県部会の皆様に心から感謝を致します。来年は環境対応型農業に取り組む滋賀県で開催される予定となっており、更なる盛り上がりを目指したい。

日付	氏名	新	旧
6/30	梅木 審	退職	本店農産部
7/1	高橋 泰寿	特販部	新規採用

電話：03-5802-2011/E-mail：journal@mcagri.co.jp URL <http://www.mcagri.jp>